

地図や絵図で見る名所の変遷 ～神田神保町 今昔散歩～

本学神田キャンパスが立地する神田神保町。日々目にする近代的なビルやあの橋、この店・・・先人の遺産である地図や絵図を見ながら約400年前にタイムスリップして神田神保町の移り変わりをみていきたいと思います。各時代の地図・絵図に名所をポイントしました。どのような時間の経過を辿り今に至っているのか歩いてみましょう。

《名所》

1. 専修大学

明治13年(1880年)9月、アメリカ留学から帰国した、相馬 永胤(そうま ながたね)、田尻 稲次郎(たじり いなじろう)、目賀田 種太郎(めがた たねたろう)、駒井 重格(こまい しげただ)の4人により創立されました。留学で培った専門知識を社会に還元しようと、苦心惨憺の末、専門的な知識を日本語で教授する日本初の経済科と法律科を併設した高等教育機関である「専修学校」(専修大学の前身)を創立しました。

2. 神保家

江戸時代の旗本。神保町(じんぼうちょう)という町名の由来はこの神保家の屋敷からきています。詳細は「神保町」の由来・神保家についてをご覧ください。

3. 俎板橋(まないた橋)

日本橋川に架かる橋。江戸時代のはじめころは俎(まないた)のような木の板を渡しただけの橋であったことから、この名前が付いたとされています。

4. 三省堂書店

明治14年(1881年)4月、「古書店」として誕生しました。創業者は亀井忠一。詳細はグルメ&カルチャーコーナーをご覧ください。また本展示ポスターの写真は昭和12年の三省堂書店です。

5. らんちゃん

明治42年(1909年)の誕生当時、「生ビールを飲める洋食屋」はここだけでした。詳細はグルメ&カルチャーコーナーをご覧ください。

《展示資料》

江戸時代初期：『寛永江戸圖』

江戸時代末期：『嘉永・慶応江戸切繪圖全』

明治時代：『東京市神田區全圖』

昭和時代：『あの日の神田・神保町：写真と地図でたどる：昭和25年から30年代の思い出と出会う』

令和時代：『JIMBOCHO 古書店 MAP』